



TITLE:

天界問答

AUTHOR(S):

---

CITATION:

天界問答. 天界 1943, 23(262): 128-128

ISSUE DATE:

1943-03-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168583>

RIGHT:

を示し、又、鎔和した石英粒の聚成を現はした。遂に1930年に土着のツングス人が、實際に隕星の落下地點に遠征隊を訪ねて来て、星の落下の直後、落下の中心地附近に立派なばらばらになつた生鐵を認めた事を報じて呉れた。

生々しく、興味深い此の事件の研究に基づいた、理論的な結論に依つて、必要上此の星の落下の説明をして、結語とする：即ち、1908年六月30日に、ボドカメンナヤ・ツングスカ河の背後に一つの巨大な隕鐵が落下した事が譯つた。此の天體は、最初空中で、次に地球の地殻内で木葉微塵に破裂し、分離した多くの斷片として貫通し、又、此處（地殻内）で、斷片は、其の時に生じた白熱ガスの脱出の働きに依つて、一層少片に破裂して了つたと思はれる。吾人は、殆んど25米以内の深さの所に、ニッケルを含む此の鐵の粉細した塊に出くはすものと期待出来るし、個々の斷片は、重さ100乃至200米噸もあると思はれる。又、隕星が地球の大氣と衝突する以前には、隕鐵の全塊は、殆んど數萬米噸はないとしても、恐らく數千米噸の重さがあつたものと思はれる。

筆者は、現在、此の隕星の落下地點の空中撮影の計劃にたづさはつて居る。

(A. S. P. Leaflet 109. 佐登兒譯)

## 天 界 問 答

問：彗星と地球との距離は視差の觀測によつて知るのですか？(S生)

答：わざわざ視差の觀測をやりません。軌道要素の計算の序でに、彗星と地球や、彗星と太陽との距離は精密に算出されるのです。(A)

問：彗星探索をする時、夕方及び朝方が力説される様ですが其の理由はなぜでせうか？夜中でも彗星は出ると思ひますが？太陽附近が良い理由？(N生)

答：彗星は何所にもあるわけですが、最も多く密集してゐる所は太陽の附近なのです。それで、夕暮れや日の出前の低い空を捜すのが最も能率をよく擧げることになるのです。(山本)

問：丁抹の天文家 Tycho Brahe を片假名で表現する時、Tycho をタイコ1, チコ, テヒヨ, タイヒヨ, テイコ, テイヒヨ, テイホ等種々見受けるが、丁抹語では何と發音するや、尙ほ Brahe の發音も知りたし。(S.N.生)

答：之れについては、いろ々々調べましたが、獨英佛等の各國で皆多少違つた呼び方をしてゐます。元々これはデンマルクの人ですから、デンマルク語で發音することにしますと、テューコー・ブラーへとなります。テューといふ音は日本人としては困難なものです。又、最後のへは非常に淡くて、殆んどエと聞えます。御參考までに。(G.生)